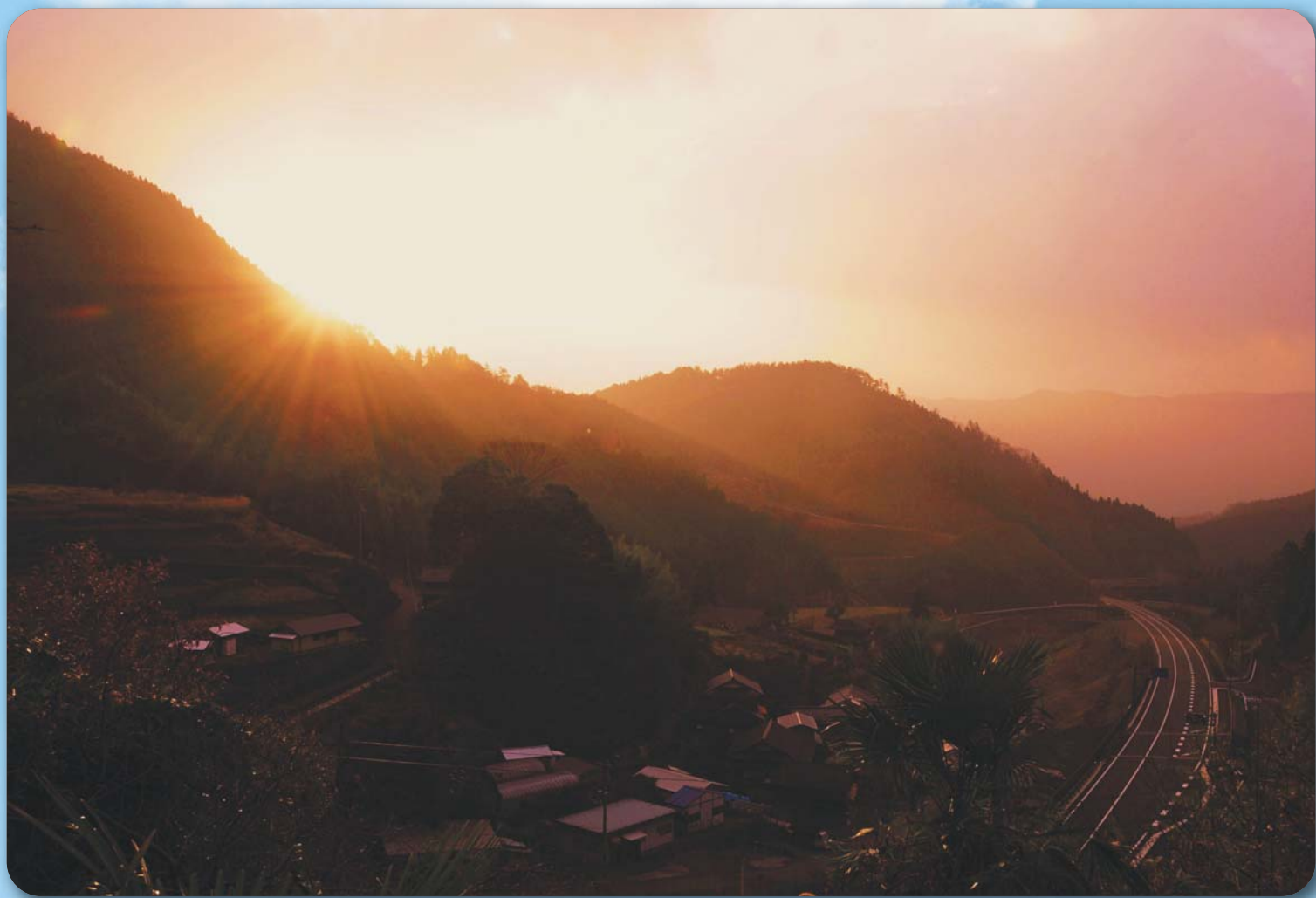


雲の上のまち



た報

ゆすばら



永野からの日の出

新年号

2011 <平成23年>
No. 631

- 世帯数/1,785 (12月初)
- 人口/3,878 (12月初)

謹んで新年のお慶びを申しあげます



皆さまには希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。
本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

平成二十三年 元旦

梶原町長 矢野 富夫

昨年は、私たちの生活を取り巻く環境の中で、様々な不安を強く感じた年ではなかったでしょうか。

全国的に寒暖の差が激しく、梅雨前線等による雨の日が続くと思えば、気圧の影響などにより気温が30度を超える日々が続くなど、異常気象による農作物への不安が広がりました。

また、新型インフルエンザの発生による不安や宮崎県に端を発した口蹄疫の発生による不安。

さらに、国政では、6月に鳩山内閣から菅内閣となり、7月の参議院議員選挙では、民主党・国民新党の連立政権が過半数割れとなり、衆議院と参議院の多数派が異なり「ねじれ国会」となりました。そして、9月には菅改造内閣が発足するなど、政権交代後も短命内閣は相変わらずであり、国民の不安は一層増しております。

その上、尖閣諸島の領有問題の中で尖閣諸島付近中国漁船衝突事

件やその衝突の映像流出事件問題、ロシアのメドベージェフ大統領の国後島訪問による北方領土問題、北朝鮮による韓国砲撃事件での朝鮮半島情勢の緊迫による影響、米軍普天間飛行場基地移設問題、そして、環太平洋連携協定（TPP）問題など、外交面で日本は大変厳しい状況が続いており、日本は生きていけるのか不安であり、TPP問題は、零細農家にとって死活問題であります。

まさに、不安と異常が重なる年でありました。

県におきましては、尾崎知事を先頭に、産業振興計画の着実な成果に向けて、対話と実行による努力を重ねられております。

私も、皆様方の力強いご支援をいただき早くも1年が過ぎ去りました。不安と異常の年ではありましたが、私は、世の中がどの様になるかが、町民の皆様方と考え方を共有し、目指す社会を6つお示し、国、県はもとより、町議会、町民の皆様

方の絶大なご支援のお陰で、厳しい状況ではありましたが、着実に次につなげる人づくり、社会施設整備を進めることができました。

「命の道」の整備につきましては、長年の悲願でありました国道440号地芳道路が完成し高知県内全線が開通となりました。また、主要地方道中平橋原線初瀬本村トンネルの完成、そして国道197号高野神在居間の調査着手、県道上郷橋原線上本村の着手等であります。

また、まちの駅の完成、街並みの環境整備、雲の上のギャラリー完成福祉の館の本格的な稼働、小中一貫校に向けての梶原小学校新築工事及び梶原中学校建築改修工事の着手であります。

さらに、1月16日に、土佐・龍馬であり博4会場の一つとして「ゆすはら・維新の道社中」をオープンしそれぞれのイベントと連携しながら次につながる仕組みを模索してまいりました。

さらに、本年から10年先を目指す、第6次梶原町総合振興計画「人と自然が共生し輝く梶原構想」及び今後6年間の梶原町過疎地域自立促進計画を12名の住民の皆様方が主体となり策定いただきました。

いよいよ、本年度から、これまで先人の皆様方が守り、育て、築いていただきました資源をしっかりと活かし、新たなまちづくりのスタートであります。

健康・教育・環境と、さらに産業・文化・くらしを加えた6つの言葉でキーワードに目指す社会

・梶原ならではの保健・医療・福祉が充実した社会

・高齢化と過疎地域でも災害に強い社会

・暮らしの安定と産業の振興・発展した社会

・自信あふれる梶原人を育てる教育の確立した社会

・人の尊厳が守られ「絆」を大切にす社会

・「対話と満足度」を高める役場がある社会

を目指してまいります。

昨年、本町にお越しいただきました方々から、町民の皆様方、一人ひとりの振る舞いがすばらしいとの応援メッセージをたくさんいただきました。

また、新しい特産品開発を生むやる気の方々が誕生するなど、新しい息吹きを強く感じております。

本年は、「志国高知・龍馬ふるさと博」として、梶原会場も次のステップに取り組んでまいります。

これまでの梶原人の力を、絆の力をさらに強くするために、本年はみんなに「感動を与える」を次なる目的とし、それぞれの思いで考えていただき、次につながる取り組みをしていきたいと考えております。

こうした考え方ができますのも、これまでの社会基盤の整備があったことでありまして、歴代の首長の皆様、歴代の議会議長をはじめとする議員の皆様方、各種団体の皆様方、各区分長をはじめ町民の皆様方、全員のご尽力の成果でありまして、あらためまして衷心より敬意と深く感謝を申し上げます。

昨年いただきました数々のご要望やご提言をしっかりと受け止め、町民の皆様方の不安の解消と経済の活力に向けて全力で取り組んでまいりますので、この上とものご叱声とご協力をお願い申し上げます。年頭のごあいさついたします。

梶原町役場

町長 矢野 富夫
副町長 吉田 尚人
外職員 一同
掛橋 與四郎
中越 好久
監査委員

謹んで新年の御祝詞を申し上げます



皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

平成二十三年 元旦

榑原町議会議長 二宮 近 雄

年頭に当たり議会を代表してご挨拶申し上げます。

昨年は、全国的に2月の気温が高温となり各地で最高記録を更新し、桜の開花が例年よりも早く訪れ、暖かな春を感じさせていきましたが、急に寒い日が続く春となり、4月中旬には関東地方で大雪、中でも東京都心では41年ぶりに観測史上最も遅い降雪を記録しました。その後も、局部的な集中豪雨や30度を超す猛暑が続くなど、異常気象が続いた1年でありました。幸いに本町では大きな豪雨災害等は無かったものの、農産物への影響が心配された年でした。

また、全国的に坂本龍馬ブームに沸いた1年でもありました。NHK大河ドラマ「龍馬伝」が放映され、高知県では「土佐・龍馬であい博」が開催され、榑

原もそのサテライト会場のひとつとして、「ゆすはら・維新の道社中」の皆さんを中心にたくさんイベントを企画され、サテライト館の入場者が9万5千人を越えるなど、町外から多くの方が榑原に訪れていただいた年もありました。

政権が交代して1年が経過しましたが、低迷する日本経済は一向に良くなる気配を感じることはできず、経営規模の縮小、経営破綻する企業が後を絶たない状況が続いています。国際情勢では、北朝鮮の砲撃事件があり、朝鮮半島では緊張が続いています。我が国にとっても大変気になるところです。

昨年の榑原町は、大きな事業の完成が相次ぎました。8月には「まちの駅ゆすはら」のオープン、10月には「雲の上のギャ

ラリー」の完成、そして11月には「県道中平榑原線初瀬本村トンネル」、「国道440号地芳トンネル」が開通しました。

初瀬本村トンネルは、町南部地域と町中心地とを結ぶ重要な路線であり、このトンネルの開通によってその第一歩が記されましたが、議会としましては全線の早期改良と併せて、県道城川榑原線の改良整備を目指して全力で取り組んで参ります。

待ち望んでいた地芳トンネルの開通は、松山方面への時間短縮のみでなく、今後は太平洋と瀬戸内圏の「人、物、心」の交流はもとより、四国西南地域の振興と榑原町の新たな「黎明」になることは間違いなく、町民の皆さんと一丸となって頑張っていく覚悟をしているところであります。

また、榑原中学校敷地内には小学校校舎が建築中で、本年4月には榑原町小中一貫校が開校することになります。9年間の系統的・連続的な教育を実施することで、「人間性豊かで、社会に意欲を持ち、向上心に富んだ」ゆすはらの子ども達の教育の殿堂として期待するところであります。

矢野町長が誕生して1年が過ぎました。昨年の年頭の挨拶で、目指す6つの榑原社会の基本的な考えを示され、榑原の資源と自然環境を活かして「健康・環境・教育」を基本に「信頼と協働」により「人と人の絆を大切に」する・みんなが輝く・活力あるまちづくり」を目標に定め、中越町政からの継続事業を確実に完成させ、順調に成果を上げた1年でありました。今後さらなる活躍を期待するところであります。

議会と致しまして、変化の激しい政局や経済状況を的確に把握し、執行部との情報を共有しながらも、執行部に対し是非々の立場で臨み、今後とも町民の皆様の声を町政に反映いたすべく日々研鑽を重ねてまいり所存ですので、議員ともどもご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年も町民の皆様にとりまして健やかで明るい良き年でありますようにご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

榑原町議会

議長 二宮 近雄
副議長 市川 吉朗
議会議事運営委員会
委員長 中越 計清
副委員長 西川 慶男
委員 市川 釜慶
委員 森田 幾弥

総務教育厚生委員会
委員長 西川 慶男
副委員長 高橋 基文
委員 二宮 近雄
委員 中岡 俊輔
委員 中越 好久

産業建設委員会
委員長 土釜 清
副委員長 森田 幾弥
委員 市川 吉朗
委員 市川 岩計
委員 中越 計清

議会広報編集委員会
委員長 森田 幾弥
副委員長 土釜 清
委員 高橋 基文
委員 市川 吉朗
委員 中岡 俊輔

委員 市川 釜慶
委員 森田 幾弥
委員 高橋 基文
委員 市川 吉朗
委員 中岡 俊輔

謹んで新年のお慶びを申しあげます



皆様には希望に満ちた新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。
 本年もよろしくお願い申し上げます。
 平成二十三年 元旦
 梶原町教育委員長 矢野 博 正

日頃は本町の教育振興、発展に大変なるご支援ご協力を賜っておりまして、衷心より感謝申し上げます。

新副町長となられました吉田尚人氏の後任として、誠実な人柄の吉門志茂氏が1月より就任。8年間豊富な人間関係から、社会人として教育の在り方をリードしていただきました岩崎悦子氏が、任期満了で勇退され、後任には、現役の保護者として玉川富美恵氏を8月より迎え、それぞれ立場から頑張って頂いております。

児童生徒数の減少、厳しい社会情勢を踏まえ、保幼小中各園校とも、生きる力の定着、学力体力の向上を旨として尽力いたしております。

4月から始まりました梶原こ

ども園（保幼併設型）では、1才から5才までの子どもがともに過ごし、それぞれの時期に求められる成長をよりスムーズな形で身に付けるよう努めております。環境面等で不十分な面は改善に努力し、一層充実した場としたいと思っております。他の園とも連携し、保護者ともども成長できる幼児教育に努めて参ります。

各小中学校とも、評価の工夫改善や連携の研修、一貫教育での教育課程作成などでの連携が進み、学力の改善、体力の向上が見られ、梶原の教育力が向上していることが示されました。そんな中、この改善の中心として、長年の経験を生かし、実践され成果を上げてこられた西村正文梶原中学校校長が、文部

科学省教育者表彰を受けられました。これは、それまでの氏の実績は充分評価に値するものではありますが、その上に、町内在職7年間に創り上げられた指導力向上の取り組みとその成果が評価されたものであります。梶原町にとって最も大切なこの時期に先生に在職いただいたことは、最良の事であり、感謝とお慶びを申し上げます。

一貫校への取り組みは、各部会や現場、保護者、地域の皆様のご尽力とご協力によってほぼ順調に進んでおります。その進捗状況は、広報ゆすはらの「小中一貫校だより」「小中一貫全体会」で順次お知らせし、部会、全体会での意見交換等を経てより充実したものへと進めてまいります。

そんな中、学校支援地域本部事業においては、2回の現地視察を行ない、年明け早々に準備会を立ち上げ発足を目ざします。これは、町内一校となることから、より町民全員に学校に関わっていただきたいという主旨で、「できる人が、できる時に、できる事を」、梶原の子は梶原で育てる」という、無理せず小学校児童生徒をバックアップしていただくものです。今後、公募や説明がありますので、気軽な気持ちで参加をお願いいたします。

各小中学校においては、閉校式移動に向けての取り組みが行なわれ、保護者、地域の皆様にもご負担を掛けることになりましたが宜しくお願いいたします。

生涯学習につきましても、生涯学習センターを設置し、それぞれの充実を計り、文化、歴史そして新たな取り組みを体系化、普及促進をしたいと思っております。

また、健康な身体と体力を養うために、総合型地域スポーツクラブを創設し、スポーツ人口の拡大に取り組んでいきます。

厳しい社会情勢、過度の情報化で希薄になりがちな連携を、今一度強いものにする事が、豊かな人生、地域を築き上げる基本であります。各種行事や活動

梶原町教育委員会

- 教育委員長 矢野 博 正
- 委員長代理 吉門 志 茂
- 教育委員 掛橋 水 和
- ” 玉川 富美恵
- 教育長 久保 栄 八



建設が進む小中一貫校

謹んで新年のお慶びを申しあげます



輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます
本年もよろしくお願ひ申し上げます

平成二十三年 元旦

高幡消防組合榑原消防団長 長谷部 悟

町民の皆様には、平素より我々消防団と女性消防隊そして各幼少年消防クラブに暖かいご支援、ご協力をいただいておりますことに衷心より厚くお礼申し上げます。

海外では、1月にハイチで死者17万人を越えるM7の地震が発生。2月にはチリでM8強の地震により死者不明者五百人以上、4月に中国青海省でも死傷者1万2千人以上越えるM7弱の地震が発生しました。

アイスランドでは4月に火山が噴火し火山灰の影響で航空機の運行見合わせが続き世界中で大混乱がおきました。

国内では札幌市グループホームの火災で施設利用者7名死亡。沖縄で99年ぶりのM5の地震。6月から7月にかけて、梅雨の大雨により九州や中国地方の他全国で土石流により死傷者・行方不明者35名、住家被害約7千500棟におよびました。7月には埼玉県で県防炎へりが墜落し5名が死亡。10月になると、奄美大島で記録的な大雨により死者3名建物被害約1千500棟と、全国各地で火災や自然災害が発生しました。

台風においては、本県上陸はゼロと3年続けて台風被害が無い年が続いています。

本町では建物火災が例年より多く4件発生しましたが、早期発見通報により他住宅等への延焼もなく、被害を最小限度に食い止める事が出来ました。

行方不明者捜索が2件、5月に四十町境の春分峠で登山者が、11月には龍馬博に来た町外の観光客が行方不明となりましたが、町民の方々の正確な情報提供により無事発見されました。

昨年の消防団及び女性消防隊、幼少年消防クラブの活動としましては、2月7日に大越グラウンドにおいて出初式を関係各位の出席をいただき盛大に開催しました。

4月には入団式を行い、8名の新入団員と異動の幹部に辞令交付を行いました。全国的に消防団員の確保は困難な状況にあります。榑原消防団においては定数の250名が確保されていることは、町民の皆様のおかげで活動に対するご理解によるものと感謝しております。今後も町民の生命財産を守る消防団活動へのご理解とご協力をお願い致します。

同じく4月には高知県消防大会が県民体育館で開催され、日本消防協会会長「竿頭綬」を榑原消防団「精進章」1名、「勤続章」1名受賞の他、

高知県知事内助功労感謝状を2名が受賞された事は誠に喜ばしいことであります。

7月4日には、恒例の榑原消防団・女性消防隊連合演習を開催し、日ごろの訓練成果を遺憾なく発揮しました。

10月22日には「中国・四国プロテック緊急救助隊合同訓練」が高知新港で開催され、来るべき南海・東南海地震等の大災害に備えて自衛隊・警察・消防等関係機関の災害活動及び応援復旧活動訓練を実施しました。

同月24日には第18回高幡消防組合総合演習が四十町十和で開催され、榑原消防団代表として第2分団が出場、小型ポンプ操法の模範演技の他、カン落とし競技に参加し準優勝しました。

10月15日には、西部四国山地消防相互応援協定市町事務研修が愛媛県城川町で開催され、愛媛県の消防団を含む正副団長、消防職員との間で活発な意見交換が行われました。

11月には3日に初瀬東西トンネル、13日には地芳トンネルが相次いで開通しました事は、町民の方々の利便性は元より、消防活動におきまして現場到着時間の短縮に繋がり、大変喜ばしい事と考えます。

しかし、大災害発生直後は消防団も即時活動が困難な状況にありますので、「自分の命は自分で守る」、その後、自主防災組織・消防団の協力支援となります。「起こる災害は止めることができません。いかにして被害を少なくできるか。」それが我々消防団の任務と考えます。

女性消防隊におきましては、連合演習での炊き出し訓練、災害を想定した日赤救急法の訓練、高齢者住宅訪問やまごころ弁当の配布を行いました。また、住宅用火災警報器の普及の為、消防団員と協力して各戸を訪問し警報器設置事業も実施しました。住宅用火災警報器につきましては火災発生時を早期に見出し避難する事で、人的被害を無くす有効な防災器具と考え、今後も設置普及に努めてまいります。

越知面小学校の子ども達が平成14年から軽可搬ポンプ操法を行っており、5月に越知面少年消防クラブとして結成されました。そして、8月には日本消防協会から小学生による操法習得は全国でも珍しく異例とも言える視察を受け、全国5千を越す防火クラブの中から55クラブを選定する「モデル少年消防クラブ」に選ばれました。子ども達のこうした活動は、将来の地域防災を担う人材育成に繋がると考えており、昨年6月と今年の2月に東京で開催の日本消防協会主催の「全国少年防火クラブ指導員研修会」へ団員を参加させ、クラブ員の指導に役立てたいと考えますので、今後も町民の方々のご支援をよろしくお願ひ致します。

越知面少年消防クラブにおきましては、「秋の全国火災予防運動」で、榑原幼稚園防火クラブと商店街の防火パレードにも参加していただきました。

消防団の装備充実につきましては、昨年4月に第2分団1部の小型ポンプ付積載車が最新型の車両と小型ポンプを装備して更新され、今年には本部のポンプ車の更新を予定しております。

防火水槽及び消防道等につきましても、国道の交通量増加や各地域未設置の箇所を再調査の上、町執行部と協議のうえ、整備したいと考えております。

本年も団員一同、町民の皆様の生命及び財産をあらゆる災害から守り、今までの訓練を活かし、安全で安心して暮らせる町づくりのために精一杯努力していく所存であります。

なお一層のご支援、ご指導をいただきますようお願い申し上げます。この1年が無火災と無災害でありまして共に町民の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

榑原消防団

- 団長 長谷部 悟
- 副団長 長谷部 繁
- 副団長 下村 耕
- 第一分団長 森田 義
- 第二分団長 玉川 則
- 第三分団長 大空 洋
- 第四分団長 村岡 明
- 第五分団長 田崎 照
- 消防主任 須上 博
- 那川 澄
- 川田 洋
- 村岡 明
- 大空 洋
- 玉川 則
- 森田 義
- 下村 耕
- 長谷部 繁
- 長谷部 悟

榑原町女性消防隊

- 女性消防隊長兼第一分隊長 山口 眞知子
- 第一分隊長 山中 秀子
- 第二分隊長 大越 和江
- 第三分隊長 川崎 上
- 第五分隊長 上 眞知子

謹んで新年のお慶びを申し上げます



皆様にとりまして幸多き年でありますようお祈り申し上げます
本年もよろしく願ひします
平成二十三年 元旦

榑原町森林組合代表理事組合長 中 越 利 茂

昨年の政治面では、政府、民主党の中国、ロシアとの外交面での対応、内政課題も含め施策が一定しないなど政局の不安定さから、支持率が大幅に低下し、地方自治体なども対応に苦慮している状況が見受けられました。

高知県政では、「高知県産業振興計画」の大きな事業の一つである地産外商の拠点として、東京へアンテナショップを設置して事業展開を行っております。

町内では、矢野町政の実質的なスタートの年であり、榑原町の進むべき方向性を示す、第6次榑原町総合振興計画も町民参加のなかで策定され、今後この計画のもと、町づくりが進められる事になりました。

また、町の駅、雲の上のギャラリーや榑原中学校、小学校の

改修、新築など大型の建設事業により、使用する木製品の原木搬出、製材加工事業が活発化し、町内経済に大きなインパクトがありました。

さらに、NHK大河ドラマ「龍馬伝」のサテライト館は、10万人近い入場者でにぎわいを見せました。11月には、待望久しかった「地芳道路」の完成、開通がありました。今後、人・情報・物流の交流を活発化して文化や地域経済に活かせるか、また、ポスト「龍馬伝」をどう育てるのか、今年には行政や団体、事業者、町民の総合的な地域力が試される年となりそうです。

経済面では、アメリカ発の金融危機による景気後退も底を見せ、エコカー減税、家電のエコポイント制度などによる消費活

動の活発化によって回復基調にあったものの、円高傾向のなか秋以降回復は鈍化してまいりました。

森林・林業においても、経済の縮小や住宅の飽和時代に入り、着工戸数の大幅な減少や材価の下落など、憂慮すべき事態となつています。こつした事を受け、政府では今後10年間で木材の国内自給率50%を目指した、森林・林業再生プランを発表し、その具体的な推進方法について検討を行っております。

昨年の組合事業では、当組合が森林資源管理者として、2000年に取得したFSC森林認証、COC認証も認証期間5年の第3期目を迎え、8月、11月にそれぞれ更新審査を受け、向こつ5年間の認証を得る事がで

きました。認証森林面積も13,238haになり、町内全森林の62%が認証森林になりました。製材品の工務店等への直接販売量は75%、工場での加工付加価値生産高も2000年と比較して200%になり、工場従事者も5名の増員となっております。

また、高知県自伐林家等支援事業でも県内枠の大半の配分を受け、間伐材、ペレット原料に対して、運賃、選木費、販売手数料等の経費補助を行い、自伐林家に対する出荷支援ができました。

23年度事業の管理部門では、組合の安定経営を持続・発展させるため、「中期経営計画」を基に、経営を遂行してまいります。さらに、森林整備、利用間伐による素材生産量及び加工製品の販売拡大を図るため、森林施業プランナーや加工技術の向上、販売営業担当者などの育成を行い、執行態勢の充実を図つてまいります。

また、未整備森林の整備を進めるため、所有者へのアプローチを行い町内全森林の整備を進め、森林整備の施業集約を行う作業路開設、利用間伐を行う「森の工場」も、新たに団地を設定し、長伐期経営を目指した森林づくりを進めてまいります。

販売加工部門においては、間伐材の搬出、素材やペレット材の取り扱いを行い、FSCブランドにより、安心・安全な顔の見える住宅づくりを進め雇用の増大、山元還元に繋げてまいります。

本年度も、引き続き厳しい状況が予想されますが、国、県、町、町議会及び関係事業体との連携を深め、役員一致結束して事業を推進してまいりますので、組合員を始め関係機関の皆様のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様のご健康とご多幸をお祈りして新年のご挨拶といたします。

榑原町森林組合

- | | |
|-----------|-----------|
| 組合長理事 | 中 越 利 茂 |
| 理 事 | 下 村 繁 男 |
| 理 事 | 山 口 敏 敏 |
| 理 事 | 森 山 恒 喜 |
| 理 事 | 吉 村 満 寿 夫 |
| 理 事 | 竹 倉 茂 一 |
| 代表監事 | 山 本 浩 一 辰 |
| 監 事 | 中 平 俊 一 |
| 監 事 | 沖 田 文 雄 |
| 参 事 | 中 越 文 雄 |
| 外職員、従業員一同 | 中 越 文 雄 |

謹んで新年のお慶びを申し上げます



本年が皆様にとりまして、輝かしい一年でありますよう
お祈り申し上げます。

本年もよろしくお願ひします。
平成二十三年 元旦

梶原町商工会会長 新谷 章 男

我が国における景気の現状は、昨年夏ごろから製造業を中心に弱含みになり、就業者数や現金給与総額の回復も緩慢になっています。今後、自動車の買い替え補助金の終了や家電工コポイントの大幅な縮減などの景気刺激策の反動減、脆弱な内需の回復力などが背景にあり、「足踏み」状態が続く消費者物価のマイナス傾向は、引き続き懸念されています。

食料品、被服など幅広い分野で価格下落の動きが予想されています。国は、社会保障改革案と消費税の引き上げを含めた税制改革を検討しているようです。社会保障では、子育て支援など現役世代への給付の強化を狙い、税制の改革で財源の確保をして、バランスのとれた福祉と負担を目指しているようですが、かかる費用は莫大なものでなかなか二兎を追えない模様です。このような中心部の動向は、地方の中山間地域にはなかなか実感は程遠いように思われる昨今です。

このように国の厳しい状況にあつて、本町が全国に元気を発信できているのは、矢野町長をはじめとする町行政中核部の理にかなったきめ細やかな政策の賜物と敬意を表するものでございます。

梶原町では、昨年11月に梶原町から愛媛県に北に抜ける国道440号線地芳トンネルが開通し、西に向かう197号線とともにどちらからでも松山市まで車で90分程の距離になり、西の鬼北と同様に久万高原町・柳谷地区とはますます親近感が増して参りました。道路改良による商圏の拡大は大きなチャンスと捉えています。梶原町愛町スタンプ会との連携を密にして、町内はもとより愛媛県からのお客様に購買意欲を高めていただけるような取り組みを進めていきたいと意欲を新たにしているものでございます。

また、高知県では、昨年に続き観光戦略に重きを置き、本年を「国際観光推進元年」と位置づけ外国人観光客の積極誘致に力を入れています。特に梶原町はお隣の韓国とは鷹

取キムチが誕生するなど交流には深いものがあります。ソウルから松山空港へは定期便が就航しており、搭乗時間を含めて梶原まで3時間程度で到着するなど交通アクセスが充実してきました。当地への観光を組み入れたツアーに力をいれて参ります。

跡はもちろんのこと、四国カルストの雄大な稜線を貫く大規模林道や、松原地区の森林セラピーロードに加え、宮野々地区の九十九曲峠への道が整備されるなど、誇れるものはたくさんあります。津野氏の時代から受け継がれてきた「客人(まごころ)文化」を絶やすことなく次の時代へと語り継いでいくとともに、今年もゆすはら流おもてなしの心で事業推進を図って参ります。

梶原町商工振興協同組合にて指定管理を行っている太郎川公園施設群に、昨年に「雲の上ギャラリー」が完成しました。渡り廊下棟・ギャラリー棟・ブリッジ棟で雲の上のホテルと温泉を繋いでいます。ギャラリー棟のスペースは一般に貸し出しをしています。写真や絵画、書道など美術・工芸品の展示等に活用していただき、皆様の文化・芸術に関するお披露目の場所としてご利用いただくほか、幅広い利用方法についても、皆様からのご提案をいただきながら有効活用に向けて参ります。

雲の上の市場、およびまちの駅の市場部門は、町外から訪れた方々から大変喜ばれております。品揃えあつての市場です。新鮮野菜、加工品、木工品をはじめ、これはと意表をつくような商品等も大歓迎です。町内の皆様からの出荷をお待ちいたしております。

商工会および商工振興協同組合は、人が動く、物が動く、そして経済が活発に動く運営をめざしています。会員各位はもちろんのこと、各

事業所や町内の皆様のご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

今年が卯年。野兔の体毛は冬になつて雪が降りだすと白くなり、春が来ると周りの草木に似た色に変わってくるといわれています。我々も時代の波に流されないよう臨機応変に対応できるようにになりたいものです。又、卯の刻は夜明けの時刻です。輝かしい夜明けが来るに違いありません。

本年が、皆様にとりまして、健やかで素晴らしい一年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

梶原町商工会

- | | |
|-----|-------------|
| 会長 | 新谷 章 男 |
| 副会長 | 西川 陽 子 |
| 理事 | 長山 和 幸 |
| 理事 | 影浦 俊 賢 |
| 理事 | 中村 博 夫 |
| 理事 | アウテンポール 千賀子 |
| 理事 | 下元 正 八 |
| 理事 | 川村 善 雄 |
| 理事 | 中越 和 夫 |
| 理事 | 中山 博 行 |
| 理事 | 安井 謙 二 |
| 理事 | 西岡 利 晃 |
| 理事 | 村田 澄 夫 |
| 理事 | 中越 哲 臣 |
| 理事 | 戸梶 一 郎 |
| 理事 | 中山 美 郎 |
| 理事 | 山本 浩 辰 |
| 理事 | 外職員 一同 |

謹 賀 新 年

あけまして
おめでとうございませす

各種団体・機関等

梶原町区長会

会 長(四万川区) 山中 照亞
副会長(西 区) 中越 一長
区 長(東 区) 西川 豊正
(越知面区) 川上 光章
(初瀬区) 矢野 豪佑
(松原区) 久岡 立志

梶原町農業委員会

会 長 村田 澄夫
会長職務代理 高橋 基文
委 員 沖田 孝幸
中岡 延幸
中平 紀善
岡林 勝
高橋登志子
前田佐代子

梶原町民生委員・児童委員協議会

会 長 川上 和子
副会長 西村 正義
委 員 川上 勇子
廣瀬 壽子
高橋 勝也
氏原 迪
上田 夏美
川上 芳郎

梶原町選挙管理委員会

委員長 青木 光夫
委員長職務代理 片岡美津枝
委 員 坂本 重男
大崎 光雄

高幡消防組合津野山分署

分署長 木原 正利
副分署長 岡崎 好友
外消防職員一同

梶原町交通安全町民会議

会 長 矢野 富夫
副会長 二宮 近雄
副会長 長谷部 悟
理 事 山中 照亞
兼頭 伴爾
川上 壽雄
中越 利明
西森 建基
下元 保市
上川 涉
中越 靖
河野 純雄
氏原 達子
吉村 光義
吉村 博夫

梶原町魚族保護会

会 長 影浦 賢
副会長 西村 要吉
委 員 沖田 裕次
沖田 純輔
山中 照亞
松浦 博務
中越 誉
明神 武美
氏原 昇佐
中平 広重
吉村満寿夫
下元 一利
中岡 俊輔
中越 好久

交通安全指導員

戸梶 隆光
中越 浩一
坂本 重男

社会福祉法人カルスト会

理事長 下元 廣幸
副理事長 中越 平
理 事 川上 和子
中越 計清
西村 新一
川上 光章
中越 利茂
掛橋與四郎

委員

明神 武美
松本 亮恵
三好 富江
久岡 喜美
高橋眞由美
渡辺 瑞枝

理事

(交通安全母の会)
広瀬 妙子
氏原 邦雄
土谷 善昭

行政相談員

志手 功
永橋 信弘
熊谷 三郎
川上 善子

人権擁護委員

志手 功
高橋 勝也
兼頭 伴爾
市川 吉朗
松山 栄喜

梶原町保護司会

志手 功
高橋 勝也
兼頭 伴爾
市川 吉朗
松山 栄喜

身体障害者相談員

志手美佐子
高橋 栄子

知的障害者相談員

高橋 栄子

梶原町衛生組織連合会

会 長 前田 稔
副会長 永橋 信弘
委 員 西村 義夫
吉門 清行
矢野 法
田辺 良一

梶原町手をつなぐ親の会

会 長 高橋 正知

身体障害者連盟

会 長 久岡 亀一

戦没者遺族会

会 長 氏原 義章
副会長 下元 保市

婦人部長

明神 治子
西岡 一雄
川上 宣享
二宮 吉永

高知県軍人恩給連盟梶原支部

支部長 河野 政雄

梶原傷病軍人会

会 長 中越文太郎

梶原傷病軍人妻の会

会 長 広瀬 秀子

あゆみの会

会 長 森邊保一郎

たんぽぽ会

会 長 下元 望

託老所「陽だまり」

会 長 西村 美子

梶原町環境美化推進組合

組合長 島崎 勝男
副組合長兼会計 川村 善雄
理 事 岡村 聖
西岡 秀六
中越 利晃
前田 長壽
岡林 勝
氏原 達子
久岡 亀一

梶原中学校校長 西村正文氏が

文部科学大臣表彰

12月1日に行われた平成22年度文部科学省教育者表彰式で、梶原中学校校長西村正文氏が文部科学大臣表彰を受賞しました。

西村正文氏は、昭和52年に、東津野村立中央小学校教諭に採用、学習規律の徹底と学級経営の充実を図り、楽しく分かる授業の工夫改善を行い、基礎学力の定着と向上に取り組みました。

また高学年の学級担任として体育主任として尽力され、地域の子ども会活動や学校・家庭・地域が一体となった運動会など取り組み、保護者や地域の絶大な信頼関係を得ました。

昭和62年4月から15年間は教育現場を離れ、高知県教育委員会の指導主事、管理主事、教育事務所長として高知県全体の教育力向上に取り組み、平成9年度からスタートした「土佐の教育改革」では人事の中心者として、それまで培われた豊富な力量を発揮し、教育改革の企画立案に多大な貢献をされました。特に平成11年4月から3年間は、

中部教育事務所長として卓越した先見性と行動力で中部教育事務所の組織改革を図るとともに「ふるさと未来教育事業」を立ち上げ、複式教育の充実や学力向上対策など、特色ある学校づくり支援のために手腕を発揮されました。

また、在職26年目からは学校長として8年6カ月間努め、須崎市立吾桑小学校長・越知面小学校長を歴任、現在3校目となる梶原中学校で

勤務されています。それぞれの赴任校に置いて明確な教育ビジョンのもと授業研究や学習指導法の改善につなげ、他校の模範となる学校経営を行い多大な成果を上げています。

梶原中学校では、アクションプログラムで作

成と実施、チーム・チーム制を導入した学校組織の見直しを行い、学校のスリム化と組織的な指導体制を確立しました。また、教科の枠を超えた全員参加型の校内授業研修の実施を計画的に実施し、教員の指導力向上を図るとともに、数学を中心としたチャレンジ塾の実施により生徒の基礎学力の向上に大きな成果を上げました。

平成20年度には県校長会長として、本県の教育課題の解決にむけ県下の小中学校での具体的な取り組みを提言するなど、高知県の義務教育における功績は顕著なものがあります。
梶原町松谷在住。



会場で表彰状を手にする西村正文氏

国勢調査速報

梶原町 3千986人

人口13・82%減少

県は、12月16日、10月1日付で実施した平成22年度国勢調査結果概要（速報値）を公表しました。

で前回調査の4千625人より639人少なくなり13・82%減少しました。また減少した33団体のうち大川村、大豊町について高い減少率となっており、依然として人口減少が止まらない状況となっています。

県下では80万県民ともいわれてきました。今回の調査で3万2千人減少の76万4千人余りとなり、県全体の減少率は4・02%となり、香南市を除く全市町村が人口減少となりました。梶原町では、人口が3千986人

現在の数値は速報値です。精査の結果変動する場合があります。

梶原町の国勢調査人口の推移

(人)

昭和25年	1950	10,735
昭和30年	1955	10,651
昭和35年	1960	9,850
昭和40年	1965	8,477
昭和45年	1970	7,011
昭和50年	1975	6,170
昭和55年	1980	5,750
昭和60年	1985	5,407
平成2年	1990	5,020
平成7年	1995	4,998
平成12年	2000	4,860
平成17年	2005	4,625
平成22年	2010	3,986

年金だより

20歳になったら『国民年金』

20歳を迎えると、様々な権利とともに義務も生まれます。国民年金に加入することもそのひとつです。

皆様方の中には、「年金なんて先のことだから関係ない。」なんて思っている人はいませんか？

国民年金は、日本に住んでいる20歳から60歳までのすべての人が加入して、やがて誰にも訪れる老後の所得保障だけでなく、障害や死亡といった不慮の事故などにより私たちの生活の安定が損なわれることのないよう、みんなで前もって保険料を出し合いお互いを支え合う制度です。

また、少子高齢化が進行し現役世代の負担が年々増加しています。基礎年金の半分は国庫負担で賄われているため、現在20歳の方も納付した

保険料以上の年金が受け取れます。さらに賃金や物価の変動に合わせて年金額が改定されますので、大変有利です。ただし、加入の手続きや保険料の納め忘れがあると年金が受け取れないこともありますので、「あのときに・・・」と後悔する前に必ず国民年金の加入手続きを取りましょう！

なお、学生の方や収入が少なく保険料の納付が困難な場合は、「学生納付特例」や「若年者納付猶予」など保険料の支払いを猶予する制度がありますので、お住まいの市区役所・町村役場で国民年金の加入手続きと併せて申請してください。

所得税・贈与税・消費税及び地方消費税の確定申告と納税はお早めに!

所得税・贈与税・個人事業者の消費税及び地方消費税の確定申告が始まります。

「確定申告の手引き」または、国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」を利用してご自分で申告書を作成し、郵送等でお早めに提出をお願いします。

所得税・贈与税の申告と納税は

3月15日(火)まで

消費税及び地方消費税の申告と納税は

3月31日(木)まで

国税庁ホームページアドレス <http://www.nta.go.jp>

交通事故被害者の家庭をサポート

独立行政法人自動車事故対策機構では、育成資金の貸付や、介護料の支給を行っています。育成資金の貸付は、自動車事故の原因で保護者を亡くされたり、重度の後遺障害を残すことになり、生活困窮家庭の児童(中学生以下)に義務教育終了までの経済的手助けを行う制度です。また、介護料は、自動車事故の原因で重度の後遺障害を持ち、介護の必要な方に支給されます。

金額【育成資金貸付額】

- ・ 一時金 15万5千円
- ・ 入学支度金 4万4千円
- ・ 月額 2万円

【介護料支給(月額)】

- ・ 重度後遺障害の程度によって月額約3万円から13万円まで支給額は異なります。

問い合わせ先 なお、詳細は下記までお問い合わせ下さい。

高知市南ノ丸町5-17 高知県トラック会館内
独立行政法人 自動車事故対策機構

TEL088-831-1817

エコチル調査に
ご協力を
お願いします!

子どもの健康と環境に関する 全国調査 (エコチル調査)が始まります

「子どもの健康と環境に関する全国調査」(エコチル調査)が平成23年1月末より始まります。環境省によるこの全国調査は環境中の化学物質が子どもの健康に与える影響を調査するため、全国10万人の妊婦さんにご協力いただき、お子さんが13歳になるまで追跡調査をさせていただきます。

近年、子どもの喘息・肥満・発達障害等が増えているといわれる中、国内外で、環境中の有害な化学物質に対する子どもの脆弱性への懸念が高まっています。アメリカ・ノルウエー・デンマークなどで、子どもの健康と環境に関する全国調査が始まり、日本でもいよいよエコチル調査が始まることとなりました。

北海道から沖縄まで、15カ所の拠点(ユニットセンター)を設け、それぞれの地域で調査が行われます。四国では、高知大学が唯一のユニットセンターとなり、高知市・南国市・四万十市・梶原町にお住まいで、8月1日以降ご出産予定の妊婦さん

を対象に、調査が始まります。高知大学より、研修を受けたスタッフ(リサーチコーディネーター)が協力医療機関等に配置され、調査に関するご説明や参加へのお願いをします。

調査に参加された方は、いつも通りの生活をしていただく中で、通常の健診時に少し多めに採血や採尿を、出産後に臍帯血(へその緒の中の血液)等をいただく他、半年に一度程度の質問票の記入や、お子さんの健診時に健診データをご提供いただきます。

この調査で、子どもの健康と環境の関係がわかれば、よりよい環境を提供できるような制度作りができたり、次世代・そのまた先の世代の子ども達のためによりよい環境を提供することができます。一人でも多くのご参加をよろしく願います!

エコチルに関する問合せ

環境省のエコチル用コールセンター
0120-535-252

高知ユニットセンターHP
<http://kochi-ecochil.jp>

環境省のエコチルHP
www.env.go.jp/chemi/ceh/index.html



高知ユニットセンターお問い合わせ先 info@kochi-ecochil.jp

第39回 難病医療・福祉相談会 in 須崎市

難病の患者さんを対象に医療や福祉についての相談会を実施します。相談は無料です。

日 時	平成23年 2月20日(日) 受 付 12:30~14:00 相 談 13:00~15:30
場 所	高知県須崎福祉保健所(須崎第二総合庁舎3階) 須崎市東古市町 6 - 26
問い合わせ・申込先	高知県須崎福祉保健所 健康障害課(担当:竹内・陰山) 電 話:0889-42-1875 FAX:0889-42-8924
申込期限	平成23年 2月10日(木)
主 催	NPO法人高知県難病団体連絡協議会(高知市弥生町7-8) 電話・FAX:088-885-1052・090-5718-0493
共 催	高知県

こうちあったかパーキング制度

平成23年2月1日からスタートします！ 利用証の交付申請の受付は、平成23年1月4日からです。

❶ こうちあったかパーキング制度ってどういう制度ですか？

A 多くの人が利用する店舗や病院などの公共的施設には、身体に障害等のある方のための駐車場が設けられていますが、この駐車場に障害のない人が車を停めている状況や、心臓機能障害などの外から見えない障害のある方はこの駐車場に停めにくいといったように、本当にこの駐車場を必要とする障害者等の方が停めることができないという現状があります。このため、駐車場の適正な利用を図ることを目的として、県内で共通する利用証を交付し、障害者等用駐車場を利用できる方を明らかにし、本当に必要な人のために駐車場を確保する「こうちあったかパーキング制度」を実施します。

❷ 利用証はどんな人に対して交付してもらえるのですか？

A 利用証の交付対象者は、身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、要介護認定、難病などにより移動に配慮の必要な方、また、けが、妊産婦などによる一時的に移動に配慮の必要な方です。

❸ 利用証を交付してもらうにはどうすればいいのですか？

A 申請書に利用証交付申請書を記入し、障害者手帳や診断書等の確認書類を添付のうえ、窓口で申請を行ってください。県障害保健福祉課と県須崎福祉保健所の窓口で申請していただくと、原則、その場で利用証の交付を行います。また、保健福祉支援センターでも申請書の受付ができますが、受付日から2週間程度で、県から直接、申請者のご住所へ送付することになります。

❹ どの駐車場で利用できるのですか？

A 協力事業所として登録していただいた施設の「車いす使用者用駐車施設車いす用駐車場(以下「車いす用駐車場」という)」、及び「移動に配慮が必要な人のための駐車施設(以下「プラスワン用駐車場」という)」に停めることができます。町の施設であれば、総合庁舎前駐車場と保健福祉支援センター前駐車場です。

このような表示をしている駐車場で利用できます。



制度についてのお問い合わせは、高知県障害保健福祉課をお願いします。(電話088-823-9663 または088-823-9634) 手続きについてのお問い合わせは、梶原町保健福祉支援センター福祉係までをお願いします。

2月の保健福祉支援センター事業計画

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| 4日(金) 麻疹・風疹・三混・BCG予防接種 | 16日(水) 無料人権相談 |
| 7日(月) 松原サテライトディサービス
げらげら家族会 | 17日(木) 西区いきいきふれあい広場(上成) |
| 9日(水) 育児サークル | 18日(金) 東区いきいきふれあい広場 |
| 10日(木) 愛育相談(ペアレント事業)
越知面ディサービス | 22日(火) 四万川いきいき交流会 |
| 15日(火) 初瀬いきいきふれあい広場 | 23日(水) 育児サークル |
| 16日(水) あゆみの会 | 25日(金) 麻疹・風疹・三混・BCG予防接種 |
| | 毎週水曜日 陽だまり |
| | 毎週火曜日 ゆすっ子相談センター |

平成23年度 四 国 森 林 管 理 局

国有林モニター募集

林野庁四国森林管理局では、国有林について関心のある皆様には、国有林の役割や業務についてご理解いただくとともに、そのご意見等を国有林の管理・経営に役立てていくため、「国有林モニター」を募集いたします。

モニターの内容

国有林に関するアンケートへの回答
 国有林に関するご意見やご提言
 国有林モニター会議、勉強会への出席



国民の森林・国有林

応募資格

徳島県、香川県、愛媛県及び高知県にお住まいで、国有林に関心のある20歳以上の方（ただし、国会及び地方議会の議員、地方公共団体の長及び常勤の国家公務員並びに前年度にモニターとなった方はご応募いただけません。）



平成21年度 モニター会議

募集人員 26名**依頼期間** 平成23年4月から平成24年3月まで**応募方法**

ハガキ封書、FAX又はEメールで氏名(フリガナ)、性別、生年月日、年齢、住所(郵便番号)、電話番号、職業のほか、「国有林モニターを知ったきっかけ」を具体的に記入ください。また、「国有林モニターに応募する理由」を100字程度でまとめて応募ください。



平成22年度 第1回勉強会(高知県の町)

応募先 四国森林管理局「国有林モニター」係

郵送:〒780-8528 高知市丸ノ内1丁目3番30号

FAX :088-821-2025

Eメール:shikoku_kikaku@rinya.maff.go.jp

募集期限 平成23年1月28日(金)当日消印有効**発 表**

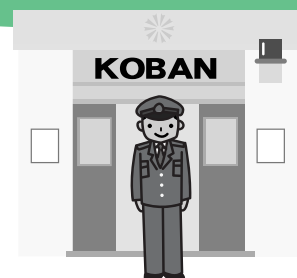
選考結果は平成23年3月頃、国有林モニターになっていただく方へ依頼状の発送をもってお知らせいたします。

お問い合わせ 〒780-8528 高知市丸ノ内1丁目3番30号 四国森林管理局「国有林モニター」係
 TEL: 088-821-2160 <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

「事件・事故 緊急通報 110番」 1月10日は110番の日です。

110番は、あなたの生命・身体・財産を守る電話です。
 緊急の事件・事故に関する情報は、ためらわずに110番して下さい。
 急を要さない要望・苦情や各種照会等については
 #9110または関係相談窓口等を利用してください。

110番をかけるときは、落ち着いて、警察官の質問に冷静にお答え下さい。



小中一貫教育便り



第6号

11月19日に開催されました小中一貫教育第三回全体会の内容を含めて現在の状況について報告します。

建築関係では

中学校の改修工事はエレベーター設置作業を終了し、足場も取り去ってすっきりと美しい外観になっています。

小学校の新築工事は、2階部分の工事に入りました。計画通り進んでいます。出来上がりの様子が想像できるようになってきました。

教育課程関係では

全体会では、めざす児童・生徒像や学校像、職員像などについて説明し、教室配置をお知らせしました。(下にその図を載せています。)

12月10日には教育計画の読み合わせを行いました。九年間を通じた新しい教育の準備が着々と整っています。

学校行事・通学関係では

PTA行事については、5つのPTA部会を中心に活動を行うことが提案されました。また、愛校作業もこれまで各校で行っていた通り実施します。

12月21日に開催される第四回全体会では、通学バスについて本部会より提出してありました要望に対する教育委員会からの回答があります。この号が出る頃には終了していますが、皆さん聞いていただいたでしょうか？今後よりよい方法について検討を重ねていきます。

制服・校歌・校章関係では

制服と体操服については、採寸と補助金申請が終了しました。これから工場では、1人1人の新しい制服や体操服を製作していきます。3月には児童生徒の皆さんのお手元に届く予定です。校歌については24日に作曲家の方から曲と楽譜をいただきます。3学期には児童生徒の皆さんへこの新しい校歌をお届けします。

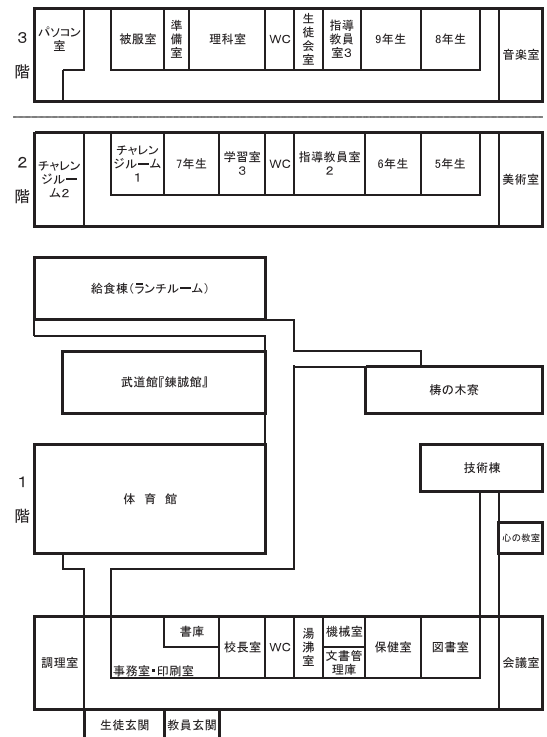
教育委員会からは「学校支援地域本部事業」の第2回視察報告をします。今後も全体会において協議をしていきますので、皆様ぜひご参加下さい。

12月16日現在の様子をお知らせしました。

梶原町小中一貫教育推進本部

来年度の校舎配置図です。
下が中学校校舎・左が小学校校舎です。
小学校校舎に1年生から4年生と特別支援学級、中学校校舎2階に5年生～7年生と特別支援学級、3階に8・9年生が入ります。

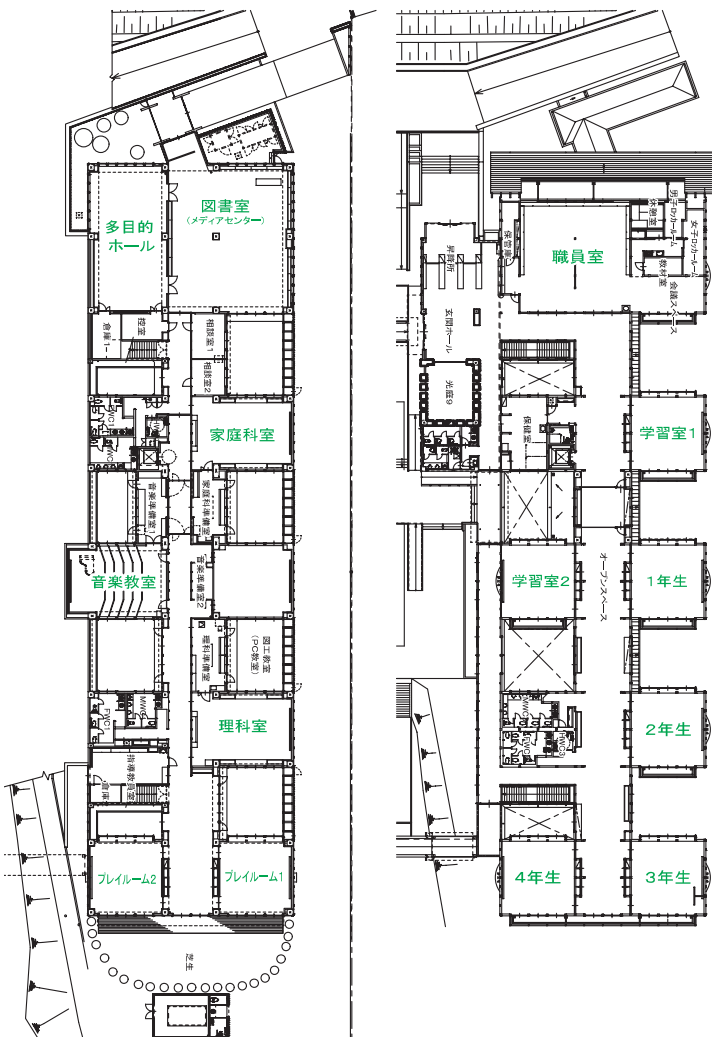
平成23年度 校舎配置図



グラウンド側

1階

2階



平成22年度
梶原中学校「ウエルカムコンサート」
 #コンサート
 盛大に開催

梶原中学校では、平成20年度から1年間お世話になった皆さんに感謝の気持ちをかこめて学習活動や部活動の成果を発表する「ウエルカムコンサート」学習発表会」を開催していますが、本年度も12月18日(土)に約120名の保護者や地域の皆さんにお集まりいただき、生徒会の皆さんの企画・運営・実施により盛大に開催されました。



クラス対抗合唱

本年度も地元のコーラスグループ「コーラスやまびこ」の皆さんにもゲスト出演していただき、地域ぐるみのウエルカムコンサートとなりました。
 午前中は、各学年1名の代表者による人権発表や12名のオーストラリア研修参加者の報告、梶原茶道クラブ並びに津野山神楽保存会の皆さんにご指導をいただいている選択学習の茶道や



茶道クラブのお手前披露



津野山神楽

神楽の発表などを行いました。
 また、午後は、特別講話として、本校の西村正文校長先生が奏でるギターと歌声で幕が開き、学生時代の思い出や社会人として大切にしていること、生徒の皆さんに期待することなどについて、歌を交えながらの心のこもった講話に会場全体が熱心に聞き入っていました。
 さらに、本年度の合唱コンク

ールの課題曲の「マイバラード」と各学年が選曲した自由曲を各学年の皆さんが11月から音楽の時間や放課後の時間に練習してきた成果を発表しました。各学年とも緊張した面持ちで舞台上がりでしたが、練習の成果を十分に発揮し、美しく、元気な歌声を会場いっぱいに響かせていました。
 審査員の前土佐市立戸波中学校長の西森悦子先生と梶原小学校教頭の川添貴生先生の厳正な審査の結果、最優秀賞は3年生、指揮者賞は2年生の市川凌汰君と寺元航基君が受賞しました。
 また、本年度は合唱テーマや意気込みを表すパネル作成にも取り組み、各学年創意工夫を凝らしたパネルを披露しました。
 このパネルは来賓・保護者・地域の皆さまに「合唱テーマが一番よく表されているもの」を投票していただき、その結果3年生がパネルグランプリを受賞しました。
 さらに、3年生の部員の皆さんを中心に、3年前から積極的な活動をしてきました音楽部の皆さんによる「学園天国」、「青い山脈」、「りんごの歌」など5曲が披露されました。来年度からの小中一貫教育校の制服を着てのダンスもあり、大いに会場

が盛り上がりました。
 本年度のウエルカムコンサートでは、生徒の皆さんのあいさつや礼儀作法、表現力や主体性、人間関係力や豊かな人間性など、梶原中学校が4年前から目指してきた学校や、生徒の皆さんの姿が確実に定着してきていることを実感する1日でした。
 本年度も梶原中学校の生徒の皆さんの健全な成長のために、ご指導・ご支援いただきました保護者や地域の皆さんに心からお礼と感謝を申し上げます。



ゲスト出演したコーラスやまびこの合唱

文芸

えはし俳句会

廃校舍銀杏落葉中にあり

宇都宮由利子

短日やみんないつしよにマラソンだ

岩元 明

父母と来て子に戻る旅暮早し

宮崎真由子

土佐の海沖より暮れて日短か

前田 茂子

耐鍋 去年の君かと問つてみる

中越 律子

霜だたみ自然歩道の出発点

瀬戸口登貴恵

菜園の霜ひと刷毛日に解く

千光寺昭子

霜解けの蒸気広がる陽の動き

西村 智子

海の色早や変りゆく日の短か

桃田 智子

着ぶくれの分だけ口が重くなる

山内 恵美

鐘の音の余韻は闇に早暮る

岩元 芙美

湯町の絡繰時計冬ぬくし

古野 節子

冬の旅漁火遠き露大風呂

下村 弘花

短日と言えど独り居には長し

谷添 光恵

友去りて我のみ残る暮早し

中越 一江

こごとく冬木となりし遊園地

下元 澄子

短日やはやも餌を欲るペットたち

ヒネ・パンヒ

さびしさをあつめて咲くや冬桜

岩井 章子

杉の子俳句会

山茶花や絵筆濯ぎし水の色

中越 呆魚

寒千両鳥に食わそか網かけよか

野中案山子

山茶花やふくよかに座す六地藏

徳永 逸夫

冴えわたり瞬き止めて冬銀河

影浦 鉄心

学童の杵餅搗ぎや見て楽し

吉村 招山

山茶花は居間から見える庭にあり

下元 廣幸

山茶花も人も雀も雨の下

内野 純子

祖母の忌に一人経きく冬の寺

氏原 陽子

屋根裏のネズミの騒ぐ十二月

西村 幸枝

山茶花や旨い話につかた乗る

久光 義恵

山茶花の白く輝く閑所跡

西村 蓉子

うす暮れてタクシー待つや片時雨

小崎みなと

冬構へ野にある人の声高し

久岡 智子

柚子の木俳句会

急峻なおらが山より松迎え

鎌倉 安弘

迷い人さがすサイレンこの霜夜

中岡 鉄子

地芳道盡きぬ話題の師走かな

広瀬 宗子

節高き両手広げて焚火の輪

広瀬 千代美

欠礼の言葉の多し吾が余白

佐竹 重子

さらさらと句友の文や年詰まる

西森 誠子

芋入れて後の楽しみ焚火番

川上 秋子

番外の札所冬めく鐘の音

西村由利子

梶原みどりの家

温室や夏咲く花が冬に咲き

岡村 和躬

託老所「陽だまり」

山里に雪虫飛んで冬近し

少しずつ夢ふくらませ春をまつ

陽だまりも元気はつらつクリスマス

2月の行事予定

- 6日(日) 梶原消防団・女性消防隊出初式
- 12日(土) 環境整備デー
- 16日(水) 所得申告受付開始
- 20日(日) 梶原町交通安全の日
- 25日(金) 小動物収集



肩たたきのサービス



梶原小の合唱



楽しかったお餅つき

松原での収穫祭
町内5年生

12月3日



光触媒塗料の散布

龍馬の誕生日で命日の11月15日を前にした11月4・5日、群像の汚れを落として来訪者に見ていただくこと、災害に備えた浄水器を手がける福岡県春日市のメリハリや佐賀県武雄市の塗装業鯉（こい）コーポレーションなどの、龍馬ファンの企業スタッフ7名の方に企画していただいたものです。

まず、初日は、細部のほこり取りや入念な水洗いです。さすが浄水器メーカーとあって、水での洗浄だけでも、群像や石組みが見違えるようにきれいになりました。



幼稚園児も見学をしました

翌日は、いよいよ保護材の吹きつけです。この塗料は佐賀県で開発された光触媒塗料で、建物の外装などにも使用され、太陽の光が当たると有害物質を分解し汚れを落ちやすくするという機能があり、効果が長期間持続するそうです。

敷石や庭石も清掃していただき、見違えるようにきれいになりました。

八志土も、渋い銅色の光を放ち続けてくれることでしょう。

お世話になった皆様、夕方遅くまで大変お疲れ様でした。

九州の龍馬ファンが 維新の門清掃と特殊保護材の塗布



龍馬伝サテライト館1月10日で閉幕です

皆さん、龍馬伝サテライト館ご覧になりましたか、オープン以来約1年、多くの方がご来館下さいました。目標の10万人に後少しになりました。サテライト館では、テレビの龍馬伝では見られなかった、龍馬がなぜ栲原から脱藩したのか...、栲原の歴史や文化からその理由をひもといて行きます。また、武市半平太亡き後、妻の富は栲原で迎えた養子とともにこの村に住み、初孫をたいそうかわいがったといいます。テレビでは見られなかった、時代の間で生きた人々の生きざまに今一度ふれてみませんか。年末年始も開館しています(8:30-17:30)

お問い合わせ

ゆすはら・維新の道社中 0889-65-1187



私たちも待ってま〜す
ぜひ来てね!



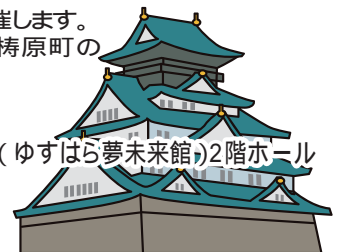
土佐山内家宝物資料館の出張講座を行います

土佐山内家宝物資料館の学芸員さんが栲原に出張して歴史文化に関する講座を開催します。土佐藩山内家に伝わる栲原町地域周辺の関連資料の紹介、山内家資料の特徴と栲原町の歴史(特に江戸時代の産業・産物を中心に)を概説していただきます。受講を希望される方は、教育委員会までご連絡をお願いします。

と き 平成23年1月30日(日) 午後2:00~3:30

と ころ 栲原町地域活力センター(ゆすはら夢未来館)2階ホール

お申し込み
お問い合わせ 栲原町教育委員会 生涯学習課 伊藤一博
電話 0889-65-1350 FAX 0889-40-2055



主催：財団法人土佐山内家宝物資料館 共催：栲原町教育委員会